

まちづくり 協力に感謝

認知症サポーターキャラバンマスコット 「ロバ隊長」贈呈式

10月1日施行の白老町認知症と共に生きる希望条例に
合わせ、**白老町女性団体連絡協議会**（吉田和子会長）が
フェルトで作った厚生労働省の認知症サポーターキャラ
バンのシンボルキャラクター「ロバ隊長」の飾り117個
を白老町に寄贈しました。飾りは大（16cm）17個、小
（8cm）100個の2種類。色はオレンジで、小さいタイ
プはストラップにもなります。同会メンバー30人が7月
から作業を始めて縫い上げました。大は福祉施設などに配布、小は認知症サポーター養成講座の受
講者などに配られます。役場で行われた贈呈式では、吉田会長が「認知症の理解促進に役立ててほ
しい」とあいさつ。大塩英男町長も「認知症でも自分らしく希望を持って暮らせるまちの実現に向
けて取り組みを進めたい」と話していました。条例は関係機関が一体となり、認知症に関する取り
組みを総合的に進め、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちの実現に向けて9月に制定さ
れました。



（9月30日）

たんとうまい寄贈

とまこまい広域農業協同組合（堀弘幸代表理事組合長）か
ら高品質のブランド米「たんとうまい」50kgの寄贈を受けま
した。寄贈は今回で24回目です。石橋公昭代表理事専務ら3
人が役場を訪れ、「今年は昨年より高品質なお米が収穫でき
ました。子どもたちに安心安全に食べて頂いて健康に成長し
てほしい」と話し、大塩英男町長は「白老町の子どもたちに、
おいしく食べてもらいます」と話していました。新米は町内
の認定こども園や子ども食堂などで米飯として活用されます。
（10月1日）



女性サロン陽だまりの家「ラポラポ」(11月)

※会場はコミュニティカフェ「ミナパチセ」（社台191-10、電話は下記）、各講座ズーム参加可

講座・イベント情報	日 程	講 師
連句を楽しもう講座 五七五・七七で結ぶ	5日(水) 13～15時	日本連句協会北海道支部 中嶋祐子さん
アイヌ文様刺しゅう講座	7日(金)、8日(土)、 28日(金) 14～16時	下河ヤエさん・田村弘子さん
手話で話そう講座	12日(水) 13～15時 19日(水) 18～20時	ろう者講師・手話通訳者
シェルビー先生の英語体験教室	19日(水) 16～17時 30分	シェルビー ブラウンさん
げんきカフェ	17日(月) 10～12時	看護師スタッフ
ゼロから始める日本語クラブ	23日(日) 17～19時	日本語教師
ジョブカフェ	26日(水) 13～15時	キャリアコンサルタントスタッフ
ママカフェ	27日(木) 11～13時	助産師スタッフ

【定期開催】●英語を楽しもう講座：未定

【サ ロ ン】●通常サロン：10～15時 コミュニティカフェ「ミナパチセ」移動サロン町内各地域

●移動サロン：22日(土) 11～14時 だれでも食堂チャムセチャムセ（白老）

※サロン利用、講座参加無料 公式ラインで情報発信しています。気軽に相談してください。
令和7年度白老町地域女性活躍推進事業



ウテカンパFacebook

LINE ID@307wxtxj



問い合わせ先：NPO法人ウテカンパ ☎080-1874-3624